

市民と議会



発行 第11号 2018.12.18

小田原市議会を考える市民の会ニュース

発行 小田原市議会を考える市民の会

HPは [小田原市議会を考える市民の会](#) で [検索](#) して下さい

連絡先 090 - 9249 - 0419 (小泉)

納得のいく議員を選出しませんか



2019年4月に、定数1削減されて(27人) 小田原市議会議員選挙があります。

現在議員に支払われている総額は約2億5千万円です。

【約817万円(歳費) × 28人 + 78万円(政務活動費) × 28人】

選挙1年前には、議会改革推進検討委員会が開かれます。各会派から検討したい議題を出し〈注①〉、会派から選出された議員がそれらについて検討します。結論だけを見ていたのでは、各議員の意向はよくわかりません。そこで私たちはこの委員会を傍聴し、その経過をみなさんに報告したいと思います。

それぞれの議員の考え方がよくわかりますので、ぜひ参考にしてください。

〈注①〉誠風から出された提案は、すでに存在するものだったので、議題とはなりません。

議員定数

現在小田原市は28人ですが、事務局から類似都市との比較(人口・面積)の資料が出されました。また、公明党の議員から関西学院林教授の議員定数の計算式での資料要求がありました。(6/29)〈注②〉

7/18

公明党	現状維持	理由	人口や面積などの要素を踏まえた住民代表機能の維持の観点から林教授の計算式で言うと小田原市は、30名というのが基本的な考え方となる。また、執行部に対する監視機能・政策提言機能の強化の観点からも林教授のお話の中で安易に減らすべきではないとのこと。
新生クラブ	検討中	理由	住民代表機能の維持について再度詰めたいので。また、以前36名いたときもあり、削減実績をもう少し調査研究したい。他市との比較をもとに再度検討したい。
志民の会	1名減	理由	南足柄市との合併の協議において両市合わせて28名とのことでした。それゆえ定数は少なからず削減すべきと考えました。また、類似他市との比較においても減らすのが妥当と考えます。
共産党	増やす	理由	地域における少数意見を排除することになるのはよくないので。また、人口や面積のこともよく考えなければいけない。
誠風	現状維持	理由	住民代表機能の維持のためには28名必要。また、定数削減というのが市民の議会に対する不信感の払しょく的手段であってはならないと考えます。議員定数の公式にのっとった場合、小田原市の形や面積のことも含まれているので現状の方が妥当だと考えます。

政和 1名減 理由 住民代表機能の維持はできると判断します。また、林教授のデータと比較してほとんどの市はマイナスになっています。また、3つの常任委員会も27名なら十分成り立ちます。

創政会 検討中 理由 人口減少と定数というものをしっかり議論したい。また、事務局内に政策担当者の配置を考えてもよいのではないか。それと監視機能というのが定数減でも十分成り立つのか。市民アンケートも必要。

〈注②〉林教授の計算式では、小田原市の議員定数は、29.3人となる。現在の定数は28人なので差は-1.3人となる。神奈川県内の他市と比べると+になっているのは横須賀市のみ。他の市はすべて-1.6~-5.5。つまり他市は小田原市よりもっと多く減らしていることがわかる。

この日は会派に持ち帰り、再度検討することになった。

8/10

公明党 現状維持 理由 小田原市は他市に比べて面積が広い。林教授の公式による数でよい。

新生クラブ 検討中 理由 林教授の資料からも削減もやむなしかとも思うが、まだ検討中。

志民の会 1名減

共産党 増やす 理由 法定定数や林教授の計算式から考えて。

誠風 検討中 理由 法定定数からいうと現状維持。他市との比較からいうと1名減もあり。

政和 1名減

創政会 検討中 理由 人口減少と定数に関してもう少し議論すべき。1名減もある面では考えなければいけない。

この日も会派に持ち帰り、再度検討することになった。

8/29

公明党 現状維持 理由 他市との面積が違う。小田原市約113km²、平塚市約67km²等。

新生クラブ 削減もやむなし 理由 類似の他市との比較から。

志民の会 減らす 理由 合併時の定数28人を考えると減らすべき。また、林教授の計算式から言っても、他市と比較して減らすべき。

共産党 増やす 理由 2040年の小田原市の人口は約16万人弱。今ここで減らすのは早計。また、現在の議員報酬を各自2~3万円減らしてその分で一人分の定数確保ができる。そのようなことも考えてはどうかと思う。

誠風 減らす 理由 合併時の定数が28人だったことを考えると将来的には減らす方向。

政和 減らす 理由 平塚市は28人等、類似他市と比較しても減らす方向でいくべき。

創政会 削減もやむなし 理由 毎年約1000人の人口減少。定数削減の方向でいくべき。

この日も会派に持ち帰り、再度検討することになった。

9/13

公明党 1減やむなし 理由 常任委員会の人数が同数になる。〈現在3つの常任委員会の人数は10人・9人・9人なので、それが9人ずつになる。〉

新生クラブ 定数減 理由 議長の裁決権〈注③〉に関係する1人~2人については協議中

志民の会 1減

共産党 1~2名増やす 理由 人口・面積・林教授の計算式から。

誠風 2名減 理由 議長裁決はできるだけ避けたい。

政和 1減 2減の意見が多ければ考慮する。

創政会 1減

〈注③〉議長は議員として議決に加わる権利は持っていない。しかし可否同数の場合、自身の意思表示をするのではなく総合的に判断しなければならないとされている。27名だと議長裁決の可能性あり。